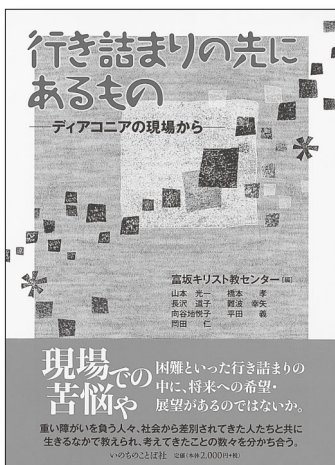




行き詰まりの先にあるもの

ディアコニアの現場から

富坂キリスト教センター＝編

定価2160円（本体2000円＋税8％）

いのちのこば社 ☎03-5341-6922

「現場での苦悩や困難といった行き詰まりのなかに、将来への希望・展望があるのではないか」。重い障害を負う人々や、社会から差別されてきた人々と共に歩んできた5人が、それぞれの実践を語る。べてるの家の向谷地悦子さんも、設立初期からの奮闘、夫である生良氏との葛藤などを彼女自身の視点から書き記す。そこから、昨今注目の的となっている“浦河べてるの家”のもう一つの歴史が見えてくる。

ボクのことわすれちゃったの？

お父さんはアルコール依存症

ブルスアルハ＝著

定価2268円（本体2100円＋税8％）

ゆまに書房 ☎03-5296-0492



シリーズ「家族のこころの病気を子どもに伝える絵本」の第4巻。アルコール依存症を扱う。従来、アルコール依存症に苦しむ本人に対するケアは行われてきたが、その子どもたちへのアプローチは見過ごされがちだった。本書は、しばしば「自分のせいかも」と己を責める子どもに対し、大人がどのようなアプローチをするべきかを物語で示す。

クレイジー・イン・ジャパン

べてるの家のエスノグラフィ

中村かれん＝著、石原孝二・河野哲也＝監訳

定価2376円（本体2200円＋税8％）

医学書院 ☎03-3817-5600



インドネシアで生まれ、オーストラリアで育ち、イエール大学で教える若い映像人類学者がべてるの家に住み込んだ——。「道すがら私は向谷地に、べてるを非営利法人にしたことを後悔していないのか尋ねてみた。法人化によってべてるは、行政のルールに則ったノーマライゼーションの色合いが強くなってしまったのではないかと」。外人目線から、べてるの家はどのように映るのか。

基礎看護技術

感染予防対策上の死後の処置

橋本佐栄子・橋本友希＝著

定価3780円（本体3500円＋税8％）

関西看護出版 ☎0725-33-0371



死後の処置について、なぜそうしなければならないのかという理由とともに手技の手順を解説。死亡退院（在宅医療を含む）後に、血液・体液が流出したケースに処置を行い、最終的に火葬までを検証している。解剖生理、感染管理に関する医学的知識と、手術室、ICU、病棟を勤務した看護師の経験が生かされている。

ルボ 高齢者ケア

都市の戦略、地方の再生

佐藤幹夫＝著

定価864円（本体800円＋税8％）

筑摩書房 ☎03-5687-2680



「高齢者ケア」は、正念場を迎えている。超高齢社会となった現在、大都市圏では独居高齢者や生活困窮高齢者の増加、地方では人口減と市街地の限界集落化などの深刻な問題を抱えている。この切迫した事態に対応した、利用者にとって最善のケアとは何か。各地で、先進的な取り組みを進めている人々取材し、その答えを追い求めていく。